

# 熊本保健科学大と 崇城大が包括連携

## 施設の相互利用など

熊本保健科学大（熊本市北区）と崇城大（同市西区）は、教育研究や組織運営などで協力関係を築くことを目的とした包括連携協定を結んだ。

両大によると、学生団体の交流や施設の相互利用を



協定を結んだ熊本保健科学大の竹屋学長（左）と崇城大の中山学長

進めるほか、これまで年に数回、両大で実施してきた教職員の研修をさらに充実させることなどを検討しているという。

17日に崇城大で行われた調印式では、熊本保健科学大の竹屋元裕学長が「共同研究などにおける連携のほか、施設の共有などもできると思う」と期待を語った。崇城大の中山峰男学長は「地域の小中高校とも連携しながら、教育面においていろいろな貢献をしていきたい」と話していた。